

1. 地域情報

主な町名	大倉字（以下除く：青下、石野立、大手門、越底内、上田沢、木戸、越倉、下田沢、新田、堰場、會倉、大六天、中崎、西田、西原、根地木、白山、橋本、前田、前原、大豆沢、道中、藪畑、横根、烏谷峯、一本木、岩下、大原、大原新田、片下り、空堀、狐森、窪田、小原、清水前、下窪、下倉、下倉道合、下倉道下、下平、新山、堰下、高畑、館下、塚田、寺下、野川、東沢目、古館、宝伝前、細田、丸山、道合、南ノ沢、宮前、夜盗沢）				
	（連合町内会）大倉地域連合町内会（学区）上愛子小学校、広陵中学校 （地域包括支援センター）大沢広陵地域包括支援センター				
人口※1	303 人	高齢者数 ※1	222 人	高齢化率※1	73.27%
世帯数※1	124 世帯	未就学児数※1	6 人		
地区の概況	西に奥羽山脈が南北に走り、四方山並みに囲まれた地区である。大倉ダムの周辺と山並みの山間部などに集落が散在している。				
地域資源 （関係団体、施設、連絡会等）	町内会	大倉日向町内会、大倉栗生町内会、定義町内会、白木町内会			
	地域活動団体 （町内会除く）	大倉地区防犯協会、宮城消防団大倉分団（5 部）大倉女性防火クラブ、宮城地区交通安全協会大倉支部、宮城地区交通指導隊大倉分隊、大倉子ども会育成会、大倉自主防災組織、宮城地区募金会大倉分会、日赤宮城奉仕団大倉分団			
	NPO・ボランティア団体	特定非営利活動法人グリーンライフ東北			
	高齢者関係施設等	特別養護老人ホーム（思行園）、認知症高齢者グループホーム（広瀬の郷）、大沢広陵地域包括支援センター広陵サテライト			
	障がい者関係施設等	知的障害者更生施設（おおぞら学園）			
	子供関係施設等				
	教育機関				
	市民利用施設	大倉ふるさとセンター、定義交流センター、十里平集会所、大倉日向集会所、日向コミュニティ消防センター、大倉栗生集会所、白木集会所、白木コミュニティ消防センター			
	その他				

※1 令和 6 年 4 月 1 日現在の「仙台市町名別年齢（各歳）別住民基本台帳人口」の町名ごとに集計されているデータを、その町名を主に活動圏域とする地区社協ごとに累計したものです。詳細な地区社協活動圏域（街区符号・住居番号）による累計ではありません。

2. 地区社協の体制

結成年月日	平成 2 年 4 月 1 日			
社協会員数	101 名（普通会員数 101 名、特別賛助会員数 0 名）※令和 5 年度実績			
会 長	氏 名	早坂 実	就任年月日	令和 5 年 4 月
	兼務の状況	定義町内会副会長		
組織体制	（役員体制）会長 1 名、副会長 1 名、理事 6 名、福祉推進員 6 名、会計 1 名、庶務 1 名、監事 3 名、 （活 動 者） 16 名 （活動者呼称）			
主な活動拠点	有→	（名 称）		
	無→	（主な活動場所）日向コミュニティ消防センター		

3. 小地域福祉ネットワーク活動

推進体制の概要		連合町内会の組織下団体として地区社会福祉協議会を設けており、担当の会長を中心に活動している。大倉地区連合町内会総務部員や民生委員も理事や福祉推進員としてメンバーになっている。		
会議・研修		ネットワーク推進会議（年6回）、連合町内会事業調整(年4回) 総会・監事会（各1回）		
活動の概要 令和5年度実績	安否確認活動		生活支援活動	サロン活動
	実施対象世帯（実数） 12世帯		実施対象世帯（実数）※2 12世帯	実施回数 9回
	(内訳)		(内訳)	延べ参加数 92人
	一人暮らし高齢者世帯 日中独居高齢者世帯 高齢夫婦世帯 その他の高齢者がいる世帯 障がい者のいる世帯 子供のいる世帯 その他の世帯		一人暮らし高齢者世帯 日中独居高齢者世帯 高齢夫婦世帯 その他の高齢者がいる世帯 障がい者のいる世帯 子供のいる世帯 その他の世帯	対象 ☒ 高齢者 ☐ 障害者 ☐ 子育て中の親（子） ☐ 子ども ☐ その他
	実施回数（延べ） 主な支援内容 訪問、電話		実施回数（延べ） 主な支援内容 除雪、食事づくり、会食会の送迎、 行事の送迎、簡単な用足し	※定期的に開催しているサロン等は、別紙「主なサロンの開催状況一覧」参照

※2 生活支援活動の実施対象世帯数は、下半期（10月～3月）における実績。

4. 広報など

広報紙等	広報紙の名称		発行頻度	
	発行部数・配布方法等			
	その他の広報	大倉地域連合町内会発行「月刊 倉人（くらんど）」に、行事予定等を掲載 年12回、1回130部		

5. その他の活動

活動・取り組みの概要	一人暮らし高齢者食事サービス・安否確認（年6回） 敬老者芋煮会・研修会（11月）
------------	---

6. 地区社協活動の特徴

連合町内会の組織下団体として活動しているが、人口が少ないため、老いも若きも協力しあって活動している。 古くからの集落であるため、家族構成もお互いに知っており、自然と助け合って生活している。
